



佐土原ロータリークラブ週報



ロータリーは
分かちあいの心

2007-2008年度R1テーマ

[世界理解月間]

会 長：梶田 與之助 幹 事：郡司 武俊
副 会 長：太田 忍 会報委員長：岩切 徳夫
会 計：垂水 敏雄
事 務 局：〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
携 帯：090-9596-6114 吉野由里子
例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
TEL：0985-73-0109

第1011回 平成20年2月13日(水)

2月20日(水)・・・ゲスト卓話「菊池平パストガバナー」
2月27日(水)・・・自由討論(全員参加で☆)
3月5日(水)・・・会員卓話「鬼塚圭司君」

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
- 「奉仕の理想」
3. 会長の時間
4. 幹事報告
5. 出席報告
6. 委員会報告
- 7. IM最終打ち合わせ
8. 点 鐘

ビタミンAの1滴が、命の可能性を2倍にするーこれは近着の国連児童基金(ユニセフ)のリーフレットにある見出しの言葉です。世界の栄養不足の子供を救おうとのメッセージです。ユニセフによれば、アジア、アフリカを中心に、世界で1億4600万人もの5歳未満の子供が低体重だと言います。日本の人口をはるかに上回る数字です。飽食で肥満に悩む先進国の裏側で、食料が行き渡っていない状況が浮かび上がってきます。そればかりか、年間970万人の子供が「防げるはずの原因」で、命を落していると言うから驚きます。そのうちの53%は栄養不良が深く関わっているのだそうです。

食料不足、栄養不足さえ解消すれば、世界の未来を担う、これらの子供の命は救えるわけです。わが国では考えられない事ですが、中央アジアの内陸部では、海の魚に含まれるヨード不足で起きる甲状腺腫の子供が多くいたり、 Bangladesh やウズベキスタンでは鉄不足での貧血に悩まされている子供が多くいたりするとも報告しています。

ユニセフは、栄養が行き届けば、こうした子供達、500万人もの命が救えるとみています。そのために、ビタミンA供給での救済を呼びかけるのいるのです。

第1010回の記録 平成20年2月6日

★会長の時間 梶田 與之助 君
皆様こんにちは。本日は第1010回の例会でございます。

1905年2月23日は、ポール・ハリス、ガスターバスローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリーの創立記念日です。よって2月は「世界理解月間」(World Understanding Month) ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うように要請されています。2月23日の創立記念日は、世界理解と平和の日(World Understanding and Peace day) 献身を特に認め、強調しなければなりません。2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調する週です。ロータリーは、各クラブが今後3年間ポリオ撲滅に向けて年間1000ドル(約11万円)集めるように要請しています。すべてのロータリアンが、特に新しい会員が歴史的な取り組みに参加するように奨励されています。この驚くべき地球規模の偉業の一端を担うにはどのようにしたらよいのかさらに学びましょう。

★幹事報告 郡司武俊君

- 国際ロータリーより～2007～2008年度会長賞申込案内届く。
- 国際ロータリーより～2009～2010年度ロータリー財団国際親善奨学生募集についての案内届く。
- 西都ロータリークラブより～第66回「歯車会ゴルフコンペ」案内届く。
- 例会変更届け～無し。

★マルチプル・ポール・ハリス・フェローピン
贈呈式
☆正岡文郁君☆

3
回
目
の
表
彰
を
受
け
る
正
岡
文
郁
会
員
(
左
)



★今月のセレモニー



☆本人誕生日
濱田松太郎君(左)
☆婦人誕生日
佐藤高元君(右)

♪ハッピー BOX 披露

- ※岩切正司ガバナー補佐～I、Mご協力を宜しくお願い致します。
- ※濱田松太郎君～結婚記念63年目になります。今後とも夫婦仲良く頑張りたいと思います。
- ※濱田松太郎君～88歳になります。今後ともよろしくお願い致します。
- ※正岡文郁君～洋子夫人誕生日・64回目です。ありがとうございます。
- ※正岡文郁君～結婚記念39回目です。今しばらく元気でおりたいと思います。ありがとうございます。
- ※佐藤高元君～あづま婦人誕生日を記念して。
- ※佐藤高元君～結婚記念月を記念して。
- ※岩下廣美君～恵子夫人誕生日・誕生祝ありがとうございます。

★委員会報告 IM 実行委員長 林 厚雄君
2月8日【金】

蓮光寺本堂をお借りして、IM 当日リハーサルを行います。各係りから最低1名の参加を願います。

～ MEMO ～

例会中は携帯電話の電源を切るか
マナーモードにして下さい・・・

出席状況 第1006回 平成20年1月9日(水)

会員数	30名(内免除2名)	欠席者数	3名
出席者数	27名	メイクアップ	0名
出席率	96.0%	修正出席率	96.0%

★会員卓話 村岡 博君
「メシオオオサゾウムシ」によるフェニックス
被害の現状及び対策について」



宮崎県には大正5年に宮崎市の天神山公園に植えられたのが始めてである。そのうちの1本が県庁正面にある。宮崎県の「県の木」としてフェニックスが指定されたのは昭和41年9月3日で、最近ではすっかり宮崎の風土に溶け込み郷土の木として県民に親しまれるとともに、南国宮崎の代表的な風景をかたちづくっている。

平成12年度に県で実施した調査では、県内には3,568本が分布している。県が所有するフェニックスの本数は、平成15年9月末で、891本であるが、これまでに行った防虫ネットや薬剤散布の被害対策の実施状況についてはこの6年間の泰先事業費は約7億4千万円で、実施箇所は、宮崎市、都城市、日南市、串間市、佐土原町、南郷町の4市2町となっている。また、13年からは、県の関係各課による「フェニックス保全対策協議会」を設置して、対策被害に取り組んでるところであるが、平成16年8月に被害発生時における情報収集及び対策を円滑に行うために対策被害要領を制定し、関係機関の連絡体制づくりを進めている。皆さんも被害に遭っているフェニックスを見かけたら私に一報下さい。

言動はこれに照らしてから

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか